

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念は作成していない。社会 であるため、責任はすべての人々に心か つて「医療福祉」として「やさしく、わか い」ことを理念として地域の認知症 のケアから家族ケアへととらえ方が重なること	生活支援活動等により支援していくことを 目的としている
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の 実践に向けて日々取り組んでいる	毎月の申し送り時に具体的な事例を通 じて理念の共有化を図っている。又毎 週に週一回「テイク」を行う共有化を図っている	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続 けることを大切にした理念を、家族や地域 の人々に理解してもらえるよう取り組んで いる	運営推進会議等計画しているが、実施 していない。今後の課題としてとらえている	○ 室岡市に運営推進会議を開催し かけていく。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声 をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえ るような日常的なつきあいができるように 努めている	日常的な挨拶はもとより施設の回り は商店が多数あり、必要の物品は入居者 本人に購入していただくところからつきあ いを深めていくよう努めている。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人と して、自治会、老人会、行事等、地域活動 に参加し、地元の人々と交流することに努 めている	室岡市福祉施設協働事業連絡協議 会や商工観光課の事業に参加しており、 地域の人々との交流に努めている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	具体的に取り組みは行っていない		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	意義を理解しており、具体的に改善のアクションはあるが取り組んでいる。		
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議が立ち上がっている		
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市へは入居者の状況報告を毎月回届けている。又、生活保護を受けている利用者の入退院の報告等連絡をとり合っている。		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修会等で学ぶ機会はあるが、それを具体的に活用するところまでにはなっていない。		
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会に出席した職員に対する内部研修を行っており、具体的な事例を通じた意識改革を防止に努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居者とその家族にホームを見学してもらうとともに、契約時により具体的な説明を行っており、不安、疑問点を尋ね、理解・納得を図っている。		
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情解決体制が整備されており、又意見箱を常時設置しておりいつでも利用者、家族からの意見、要望を表せるようにしている。苦情、意見等は個別に対応している。		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	2ヶ月に1回のお便りや、全体的な部分と個々の状況を報告しており、合わせて、居残給付金や長のコピーとレシートを送付している。尚健康状態は、個々の状態により上記以外で電話にて報告している。		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情解決体制が整備されており、いつでも利用者、家族からの意見、要望を表せるようにしている。苦情、意見等があった場合は個別に対応している。		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者が設置法人本部との会議に出席して意見や提案を伝えるあり、反映される部分がある。		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	日勤は1ユニット3人の職員で支援している。都合上、職員が不足する場合は、設置法人本部から応援の職員を派遣してもらう体制とになっている。尚夜間は家政婦紹介所のヘルパーが対応している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	し 申 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	認知症高齢者の特性を踏まえ、職員の異動は最低限とするように配慮している。		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修を受けたい職員は報告書を作成し、施設長や内部研修として周知を図っている。自主的に研修を受けスキルアップを図っており機会の確保やトレーニングしていくことを進めている		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	茨城県認知症高齢者グループ協議会に参加し、主催される研修会に積極的に参加しており、他施設の取り組みや職員との情報交換を行い、サービスの質の向上を図っている		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員相互の親睦会を行っている。 設置法人の運営する施設等での職員と交流があり、設置法人主催の旅行等に参加している。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	設置法人本部から担当職員が定期的なホームを訪問し、入居者の様子の確認、現場の職員の意見や勤務状況を把握し、設置法人本部への連携を確保できるよう努めている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	受け入れの際に、本人並みに家族より家庭での状況、入所までの経緯、これからの生活で不安なことについて聴取を把握している。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	電話での問い合わせ、見学、入所と一連の流れの中で困っていること、不安なこと、そして求められている事等を聴取し、受けとめる努力をしている	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	法人内で医療機関、老人保険施設、療養型施設、ケアハウス等、運営しており、本人の状況、ニーズに応じて適切なサービスを提供できるように本人及び家族に助言をしている	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	希望がめれば、短期間の体験入居での受け入れを実施している。入所から一月ほどの間徐々に慣れていくように配慮し、特に綿密に見守りや声掛けを行っている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩として、学ぶ事が多く、一方的な関係ではなく、共に支えあう関係に努めている	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人が面会を希望している日等も、機会が少ないと思われたときには家族への協力の依頼をしている。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	見学時や入所時に本人と家族との今までの経過歴をお聞かせあり。定期的に利用者の状況を報告することで、関係が密着に行き届くように支援している		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族面会時、他感の方と一緒に訪問がれたり。他感の民生委員の方と近所のお互いの訪問がれたりとの関係が継続できるよう支援している		
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係を把握しており、互いに良い関係が継続できるよう支援している		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	長期入院の為退所された入居者に月1回の訪問をしたり、又以等入居された方が遠くへ来たりとお集まりのついでに会いとお願いしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所後一ヶ月程度で家族や職員からの情報収集を元に初回のケアプラン作成のためのサービス担当者会議を開催している。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時並みに必要に応じて家族、本人から生活歴や生活環境等を伺いこれまでの暮らしの把握に努めている。	○ 認知症高齢者の特性に配慮した、独自のアセスメント書式を準備し、ケアプランへとっけていくこと...
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入所時並みに必要に応じて家族、本人から生活歴や生活環境等を伺いこれまでの暮らしの把握に努めている。	○ 認知症高齢者の特性に配慮した、独自のアセスメント書式を準備し、ケアプランへとっけていくこと...
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	把握した家族の意向、本人の意向を踏まえ、ホームでの生活上の課題や希望がかなえられるように、利用者本位の介護計画を作成している。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じて見直しを行うと共に、週一回の担当者ミーティングを行う等、全国の利用者の現状に即した介護が実践できるよう工夫している。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38 〇個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録と共に、毎朝のミーティングに 昨日の様子等の情報と共有するとともに、 記録に残している。又週1回各棟の ミーティングも行い、記録に残し見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 〇事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ニーズに応じて柔軟な対応は心掛けて いるが、ウォークステイやデイサービスは実施 していない(多機能事業所ではない)		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 〇地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	行事の際には、地域内ボランティア団体 への協力依頼と続けたり、徐々に地域 に浸透していると思われる。		
41 〇他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	近隣にある医療機関、特別養護老人ホーム、老人保健施設、療養型施設、ケアハウス等、本人の状況、ニーズに応じて適切なサービスを紹介されるよう支援している		
42 〇地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在、地域包括支援センターとの連携は 図られている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個々の状態に応じ、かかりつけ医と綿密に連携を取り対応している。特に精神疾患の入居者の受診時には、こまめな報告をし、適切な医療が受けられるよう努めている		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症に詳しい医師が主治医に任じている。		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	種々の相談への対応に、日常的に健康管理や医療活用の支援をしている		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	医師や看護師と常に連携を取りながら、家族の状況の報告とするとともに、早期退院が出来るよう努めている		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所契約時に入居が長期にわたる場合の話し合っている		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	週に1回の受診の日を設けており、希望者や受診の必要がある方は定期的に受診できる体制が整えてある。主治医との連携を図り、重篤な認知症の方や疾患を抱えておられる方への支援を行っている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	今までの施設での暮しや問題点等の情報を提示している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者のプライバシーを傷つけないよう、人格を尊重した対応をしている。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	一人ひとりのわかる力に合わせた説明をし、自分で決めることに重点をおいており、無理をしないよう支援をしている。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	意思表示が出来る方の意向を尊重して対応している。意思表示の読み取りが困難な方でも、小さな変化や反応を読みとる、希望に沿った支援が出来るように支援している		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	2ヶ月に1回本人の希望する髪型にカットをお願している。ヘアカラーも希望に応じて福祉出張理美容車を手配している。夜間は近所の店にお買物に行き、選んで買っている。		


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	雰囲気も大切にしている。又特別の日には食べたい物や季節毎の採物品をつくらせ準備をして、片付けたりと入居者の力を借りている。		
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒、たばこは禁止になっている。その他は、叔母の希望を基に自由に飲食していただいている。自販機がある。又近所の店に買いに行く。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々の状態に合わせて声かけ、誘導を行っている。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間帯は決められている。各棟で曜日がずらしてあり、何らかの理由で自分の棟での入浴が出来なかった場合で週2回の入浴を確保している。短いフロ、長いフロ、寒いフロ、ぬるいフロ、マイクンナーと個々の希望に応じている。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの日々の状況に応じて支援をしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	季節毎の行事やレクレーションや庭の有効活用を通じて、一人ひとりの力を活かした支援を行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	し、 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとりの希望に応じて、自分でお金を持つことができ、施設内では自由に電話を掛けたり、自費で購入をしている。又施設で預かっている施設外への買い物に行かせる		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩を兼ねて必要物資の購入などの外出支援を行っている。 又外気浴もとり入れている		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	社行事などで対応している。家族の協力が見られる方については外出時にも対応している		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話のやりとり、手紙のやりとり、支援をしている。虫関にはどの電話もあり、御自分でかけられたい方には支援をしている		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に訪問できるように、あいさつ、お茶等、工夫をしている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修会の本席にて職員による内部研修を行っており、具体的な事例を通じた拘束のないケアに取り組んでいる。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関が死角になっているため、内鍵をかけるあり 外鍵はチャームでおおしている。玄関・ホールは 総戸になっており、入居者は自由に野外 に出入りすることができ、家族は玄関鍵を 互に交換し鍵を管理している		
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮しながら、利用者の所 在や様子を把握しており、安全に努めて いる		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	物品の保管・管理は入居者の目の届か ない所に保管をしているが、必要に応じて 提供し、見守っている。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	各種のマニュアルを学びと共にビデオ を活用し一人ひとりの状態に応じた取 組みをしている。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時の対応に備えて、事務所や和室内 に応急手当や初期対応の方法が掲示 してある又職員は普通救命講習を修 了している		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難行動消防訓練の実施や御近所(民家 商店)に平日よりつきあいを基に、協力の 依頼をしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	2ヶ月1回のお便り、電話や訪問時、 近況報告及び問題点の報告をしており お人らしい生活が出来るようその都度のお 心と話し合っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	AM8:50からのミーティングにて、昨日の報 告をどう対応したのかを毎日記録し おせ、全職員が共有できるようにしている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の記録表にて、服用中の薬の目的や副 作用、用法や用量の記入があり理解し ている。支援と変化に注意している		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎朝のミーティングにて、排便の有無を確認 するとおし、水分補給や体操のよう 御工夫している。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	一人ひとりに応じた支援を毎食後行っている 声掛け、見守り、直接介助等。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養師による献立により調理を行っている。 食事量は記録しており、水分摂取は一日の 必要量が確保できるように支援している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	し.1 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている	洗面台.バス.ベトは備え付けてあるが、それ 以外に入所見学者が使い慣れたもの や好みのもを出来る限り採り入れておく お話ししている。住環境を整える。絵や飾物 ほど		
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大 きな差がないよう配慮し、利用者の状 況に応じてこまめに行っている	換気扇の使用や各居室、ホールに温度計を 設置し、利用者の状況に応じてこまめに 換気、空調を行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している	廊下.浴室に必要に応じて、手すりがある 居室の並べに共同トイレがあり、一人 ひとりの状況に合わせてできるだけ 自立した生活を送れるよう工夫 している。		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるよ うに工夫している	入居者の「できること、できないこと」を見極め、 言葉かけをこまめにし、見守り あり混乱や失敗を防ぐよう 配慮している。		
87 ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽 しんだり、活動できるように活かして いる	洗濯物の干し場は木-ム周りに 干し竿や竿を初用し、入居者が 自分で干すことが出来る。又 庭には季節毎の花や野菜を 育てたり収穫の喜びを感じて いただいている		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input checked="" type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input checked="" type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

医療機関、介護保険施設との連携が図られていて、柔軟な対応が出来る。
 利用料金が格安で、あるが設備、食事と充実している。
 専門病院との連携も密に重症障害(精神障害)を抱えた入居者も受け入れており、ある程度症状安定していれば対応出来る。
 施設の回りに店が多く、散歩を兼ねて必要物品を自分で選んで購入していただいている。